

谷田 増幸（たにだ ますゆき）

- 1 研究分野 道徳教育，公民科教育
- 2 授業科目 「学校における道徳教育の実践研究」，「道徳教育及び道徳授業の理論と実際」等
- 3 メッセージ 道徳科や公民科「倫理」を中心に，人間としての在り方や生き方に関する教育に取り組んでいます。
- 4 これまでのゼミ所属院生さんによる最終成果物のタイトル（一部抜粋）
 - 「拠点校指導教員の学びの可能性について
～初任者研修における変容過程の見取りを通して～」
 - 「道徳教育論から教育実践への架橋の試み－天野貞祐の「道理」の概念を手掛かりに－」
 - 「人間としての生き方についての考えを深める道徳の授業とは
～ボルノーによる「対話」を手掛かりにして～」
 - 「私は教師として何をしようとしているのか？－自己の教師像を表現することの意義－」
 - 「児童の友達関係の在り方を見直す道徳授業に関する一考察
－内容項目の「友情」に着目して－」
 - 「「自覚」の概念の捉え直しに基づく道徳授業実践」
 - 「道徳科の学習の終末における書く活動についての一考察－評価との関係に着目して－」
 - 「「信念を貫く」人物教材の分析と発問づくりに関する一考察
－道徳科で「人間としての生き方についての考えを深める」ために－」

5 院生さんへ

本コースでは，これまでの教育実践や実習科目等を通して得た課題意識をもとに設定した研究テーマと，本学大学院で学んだ理論とを融合させ，学校の教育実践に還元できるような研究に取り組むこととなっているかと思います。

そのことを踏まえつつも，教育実践に必要な基本的な資質・能力を身に付けているだけでは対応できない諸課題はいくつも想定されます。そのときに，そもそも教育とは何か，人格の形成や道徳性とは一体どういうことなのか，道徳教育（「人間としての在り方生き方に関する教育」）とは何なのか，翻って教師，あるいは子どもとはどのような存在なのか，といった根本的な問いが浮上してくる方もおられるのではないのでしょうか。

本研究室でのゼミは，こうした問いを自ら立て，古今東西の先行研究を手掛かりにしながら，おそらくは人間として（あるいは教師として）の根幹を支えることになるであろう「よく生きること」や「教育すること」をあらためて考究する場と捉えています。敢えて本学大学院という場でしかできないことは何かを求め続けたいと考えています。したがって，教育実践との架橋を模索しつつ，最終的には院生さん自らが先行研究を手掛かりに考究したことを一つの論文（報告書）としてまとめることを目標にしています。

